

「春に、新しい風を吹かす」

校長 石田 雄介

はや3月です。残りわずかになった平成3年度ですが、子どもたちは相変わらず元気に過ごしています。嬉しいことです。年度末を迎えた子どもたちに、私は地元新潟県・村上出身の平野歩夢選手の話をし、向上心を持って「チャレンジ（挑戦）」することの大切さを改めて子どもたちに伝えました。

(平野歩夢選手の話のあと…)

自分らしさとは何かと考え、
自分が目指す目標や頑張るめあてを決め、
練習すること。
努力を続けること。
決してあきらめずに、
「自分はこれだけやった」という足跡を残すこと。
このことが、自分に自信を持たせ、勇気を与え、
大きな力を付けてくれることを、平野選手は教えてくれます。

今の学年で過ごす日々も、あとわずかになりました。
卒業生の皆さんは、卒業へ向け、悔いなく小学校生活をやり切ってください。
在校生の皆さんは、新しい学年へ進級する心構えをもち学習と生活をしましょう。
一人一人が自信を持って進級・卒業できるように、
今の学年の最後の仕上げをしっかりとやり遂げましょう。

新年度を前に、新型コロナ禍が続く中で、「これから子どもたちのために、どんな新しい風を吹かすことができるだろうか」と展望し、動いています。

幸いなことに、南っ子たちは健康を維持し、心身共に着実に成長しています。一人一人の成長の度合いは様々ですが、子どもたちは新しい学年に向かえる力を身に付けてきています。

子どもたちが学校に毎日元気に通えましたのは、保護者の皆様や地域の皆様のご理解とご協力のおかげです。至らないことも多々あったと存じますが、それでも皆様が学校を支えてくださったことに心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

尚、次ページ以降にお示ししますように、学校の教育目標である「自分で考えたくましく生きる子ども」の育成に向け、これまで以上に子どもたちと学校職員がしっかりと向き合える時間を確保するため、校時表の変更を行います。ご覧いただき、ご理解ご協力くださいますようお願い申し上げます。